

高等学校 令和7年度（6学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究演習B

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史探究演習B 単位数： 3 単位

対象学年組：第 6 学年 BC 組～ 組

教科担当者： 駒田

使用教科書：（ 詳説世界史（山川出版） ）

教科 地理歴史 の目標：
【知識及び技能】 効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論し地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、

科目 世界史探究演習B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近代以降の世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、前年度の学習を前提にし、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能をより深める。	近代以降の世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、前年度の学習を通じて獲得した概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を深める。	近代以降の世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、前年度の学習を前提にし、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などをさらに深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第12章 産業革命と農大西洋革命 ①18世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解し、イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移を理解する。 ③アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ④革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸国に与えた影響を理解する。 ⑤ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑥中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	1 産業革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展 3 フランス革命とナポレオンの支配 4 中南米諸国の独立	【知識・技能】 産業革命、アメリカ合衆国および中南米諸国の独立、フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景、歴史的経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 産業革命、アメリカ合衆国および中南米諸国の独立、フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景、歴史的経緯を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主観的に学習に取り組む態度、フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景、歴史的経緯を見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ①ナポレオン帝国内戦後の国際秩序、ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②19世紀ロシア・イギリス・フランスの政治変遷の特徴について理解する。 ③イギリス・フランス・ドイツにおける社会主義思想をそれと比較しながら理解する。 ④1848年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤クリミア戦争におけるロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑を理解する。 ⑥ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。 ⑦領土拡大がアメリカ社会に与えた影響、アメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑧19世紀欧米文化における扱いや展開された場（空間）の推移を理解する。	1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	【知識・技能】 19世紀のヨーロッパ情勢の推移、南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造、19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 19世紀のヨーロッパ情勢の推移、南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造、19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主観的に学習に取り組む態度、南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造、19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第14章 アジア諸地域の動揺 ①オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯、帝国の改革の成果と課題を理解する。 ②ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③イギリス東インド会社の機能の変化と、イギリスによるインドの直接統治の特徴を理解する。 ④東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 ⑤清朝の危機の要因、清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。	1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	【知識・技能】 西・南・東南・東アジアにおける動揺や改革または植民地化の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。 【思考・判断・表現】 西・南・東南・東アジアにおける動揺や改革または植民地化の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主観的に学習に取り組む態度、西・南・東南・東アジアにおける動揺や改革または植民地化の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 ①帝国主義と、その支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ②列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ③20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化と各列強が抱えていた国内事情とその課題を多面的・多角的に考察し表現する。 ④日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響、移民流入の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤インド、東南アジア、西アジア各地における民族運動の共通する傾向、社会的背景を多面的・多角的に考察し表現する。	1 第2次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	【知識・技能】 帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯、アジア各地における改革や民族運動の展開と結果について理解している。 【思考・判断・表現】 帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯、アジア各地における改革や民族運動の展開と結果について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主観的に学習に取り組む態度、帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯、アジア各地における改革や民族運動の展開と結果について見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 ①第一次世界大戦の原因、もたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ③第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯と展開を理解する。 ④イタリア、東欧・バルカン半島、ソ連が直面した困難と、それに対応すべく築かれた体制を理解する。 ⑤第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑥第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。	1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	【知識・技能】 第一次世界大戦、ロシア革命の展開、戦間期の国際秩序の内容やその特徴と、その後の国際関係の変化などとあわせて理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦、ロシア革命の展開、戦間期の国際秩序の内容やその特徴と、その後の国際関係の変化などとあわせて多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦、ロシア革命の展開、戦間期の国際秩序の内容やその特徴と、その後の国際関係の変化などとあわせて見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 ①世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ナチス・ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解する。 ③ソ連の計画経済が資本主義諸国に与えた影響を理解する。 ④日本と中国が全面戦争へいたった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤フランス諸国の攻勢と第二次世界大戦の展開を理解する。 ⑥戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 ⑦冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展について、それぞれの経緯を理解する。 ⑧東アジアの国際情勢、東南アジアおよび南アジアの独立の背景や経緯、現代の中東問題の要因を多面的・多角的に考察し表現する。	1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破綻 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成	【知識・技能】 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動き、第二次世界大戦の対立の構図と第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。 【思考・判断・表現】 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動き、第二次世界大戦の対立の構図と第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動き、第二次世界大戦の対立の構図と第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	第18章 冷戦と第三世界の台頭 ①米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争と制限に取り組むようになった経緯を理解する。 ②冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を多面的・多角的に考察し表現する。 ③西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。 ④スターリン死後のソ連と東欧、中国における変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。 ⑥キューバ革命の背景および影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑦第三世界における開発政策の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺	【知識・技能】 冷戦の進展と、各国の社会に与えた影響や核開発の動き、第三世界の台頭、キューバ危機、ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦の進展と、各国の社会に与えた影響や核開発の動き、第三世界の台頭、キューバ危機、ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の進展と、各国の社会に与えた影響や核開発の動き、第三世界の台頭、キューバ危機、ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	第19章 冷戦の終結と今日の世界 ①オイルショックが各国の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②1960年代以降の世界の各地域の変容の経緯を理解する。 ③1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。 ④ソ連で始まった改革と東欧革命との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑥20世紀以降の科学技術の革新、現代思想・文化における新しい潮流の内容を理解する。	1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相	【知識・技能】 1960年代以降の各国の経済や社会の状況、冷戦終結の過程、現代思想・文化の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 1960年代以降の各国の経済や社会の状況、冷戦終結の過程、現代思想・文化の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 1960年代以降の各国の経済や社会の状況、冷戦終結の過程、現代思想・文化の特徴を見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
		地球世界の課題の探究	【知識・技能】 設定した課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解している。 【思考・判断・表現】 設定した課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 設定した課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
							合計
							105